



愛と健康の

かけはし

No.36



編集・発行 情報委員会

神戸朝日病院

住所：神戸市長田区房王寺町3丁目5-25

電話：(078) 612-5151

URL: <http://www.kobe-asahi-hp.com>

診療科目

内科
 消化器内科
 肝臓内科
 循環器内科
 呼吸器内科
 神経内科
 外科
 整形外科
 消化器外科
 放射線科
 リハビリテーション科
 肛門外科

専門外来

乳腺外来
 糖尿病内科
 腎臓内科(人工透析)
 医療相談
 栄養相談
 薬剤相談
 人間ドック
 健康診断

診療時間

【午前診・月～土】
 受付 8:10～12:00
 診察 9:00～
 【午後診・火 内科のみ】
 受付 14:00～16:30
 診察 15:00～
 【夜間診・月、水、木、金】
 受付 17:00～18:30
 診察 17:30～

※ただし急病患者については
 時間制限なく診療いたします。

- 兵庫県肝疾患専門医療機関
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会認定施設
- 日本内科学会認定教育関連病院
- 臨床研修病院指定
- 日本医療薬学会研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設
- 日本栄養療法推進協議会NST稼働認定施設

第45回 欧州肝臓学会 (EASL 2010) 見聞記

神戸朝日病院
金守良

●はじめに、アイスランドの火山噴火のため日本への帰国が4日間遅れ、入院及び外来患者の皆様にも多大な御迷惑をおかけしましたことを心から御詫ひ申し上げます。

●さて、今回のウイーン(オーストリア)で4月14日～4月18日まで開催されたEASL 2010参加の目的は2つありました。

●第1は当院(神戸大学との共同研究の1演題を含んで)からの治療成績の2演題を発表すること、第2は肝臓病治療における最新情報を入手することでした。

●第1については、当院からは”2 cm以下肝臓について各種画像診断の比較”を発表し、欧米では認可されていない新しい造影剤EOBを用いるMRI検査について欧米の専門家の注目を集めました。もう1題は”2型C型慢性肝炎のインターフェロン治療効果予測因子の検討”は都合により出席できなかった神戸大学微生物教室堀田博教授に代わって私が発表しましたところ、中東を含む欧米の研究者達から多くの質問があり、このテーマに対しての関心の高さを知ることができました。

●第2については、特にC型慢性肝炎とB型慢性肝炎の新しい治療

法についてのシンポジウムに参加しました。C型慢性肝炎については、現在のインターフェロン治療の限界を乗り越えるための新しい治療法について、とりわけ内服治療(DAA療法)の試験について議論が集中しました。そして、その試験がうまくいけば、副作用が多い現在のインターフェロンを用いない(副作用が極めて少なく、投与期間が短く、効果は同等以上)夢のような薬が数年以内にも日常臨床で使用できるという展望も語られました。

●一方B型慢性肝炎については、新しい薬剤の試験は行なわれていませんが、現在B型慢性肝炎に対して最も有効な内服薬であるエンテカビル、テノフォビル、週1回の注射薬であるペグインターフェロン(後者2剤は現在日本では保険未承認)の治療成績及び副作用(ウイルス耐性を含む)について報告されました。我々臨床家に最も関心の高い核酸アナログ製剤であるエンテカビルの治療効果について、5年連続投与後(日本では保険認可後3年しか経っていない)94例のB型肝炎ウイルス陰性化率は94%、肝機能正常化率80%などの良好な治療成績と少ない副作用(ウイルス耐性化率は13%)の成績が発表されました。



●C型慢性肝炎、B型慢性肝炎ともいずれも日本の学会では情報の得られないものであり、(肝炎の臨床試験は、欧米の巨大製薬会社主導ですすめられており、残念ながら日本にはそのような製薬会社はないために試験は行なわれておらず、せいぜい後追い試験のみです)。欧米の情報をいち早くキャッチすることの重要性を痛感しました。

●冒頭に述べました火山噴火により御心配をおかけしましたが、私はEASL 2010に参加して最新の情報と知的刺激を受けることができ、当初の目的の120%を達成できた有意義な学会であったと考えています。

神戸新聞 2010年2月19日金曜日

難治性C型肝炎治療に光



金守良院長

1型の治療は現在、ウイルス増殖の抑制効果

神戸朝日病院が開発中

が強く、効き目が1週間

続く注射薬「ペグインターフェロン」

を用いるのが主流。2008年には、いったん体から血液を抜き、ウイルスを除去した後、体内に

薬剤の組み合わせ替え効果 7割がウイルス消失

ウイルス感染が原因のC型肝炎の中でも難治性となる「1型」について、神戸朝日病院（神戸市長田区）が、薬剤の組み合わせ替えによる新たな治療法の開発に取り組んでいる。また症例数は少ないものの、7割以上の患者でウイルスが消失。同病院は「有効な治療法となる可能性がある」としている。

（武藤邦生）

戻す「二重過血漿交換療法（DFPP）」が保の直後に、持続性は低い。陰性となり、ペグIFNの併用療法に大きな期待が寄せられるようになった。しかし、臨床現場からは、併用療法で思ったほどの効果が上がらないという報告もあり、同病院では、ペグIFNから薬

1型C型肝炎は、ウイルスのタイプによって「1型」と「2型」とに大きく分類されており、日本人では患者の7割が1型に当たる。IFN療法の普及によって、2型は大半が治るようになったが、1型は治療が難しく、特効薬が少なく、完治できるのは5割程度とされる。

神戸新聞文化生活部・医療担当

FAX 078.360.5512 iryou@kobe-np.co.jp

神戸新聞で紹介されました



当院で行なっているC型慢性肝炎に対するウイルス除去療法（DFPP）が新聞に掲載され、お電話などでのお問い合わせをたくさんいただきました。その中には、治療を受けられた方の体験談が聞きたいというお声もありました。

そこで今回、実際当院でDFPP治療を受けておられる患者さま（60代 女性）にインタビューをさせていただきます。

インタビューを快くお受けいただいた患者さまに、紙面を借りて御礼申し上げます。

医療情報部 谷口美幸



DFPP治療 (2重濾過ウイルス除去療法) を受けて

Q: DFPPという治療について、どこで知りましたか。

インターネットで、神戸朝日病院のホームページをみて。いろいろな治療が紹介されていて、参考になりました。ここで、こういう治療をやっていることを知らなければ、別の遠くの病院を受診してみるつもりでした。

Q: 治療が始まってどうですか。

DFPPを受けるために、首のところにカテーテルを入れる時は、やはり不安で涙が出ました。DFPPを行なう期間、カテーテルを留置している部分が、大きく右を向いたり、左を向いたりすると少し痛いですが、治療そのものは、思っていたよりは楽でした。

Q: これから治療を受けてみようかなと思っておられる方へ、何かアドバイスはありますか。

自分自身、我慢強い方だと思いますが、すごく怖がり、心配症です。

そういう私でも、こうして治療を受けています。ウイルスを消したいと思う気持ちが少しでもあるならば、是非、治療を受けられるべきだと思います。

まだ、治療は始まったばかりですが、今のところ血小板の数が低いことをのぞいて、他のデータは良いみたいです。



Q: 治療を受けるまでに心配だったことは何ですか。

約5年前にも、インターフェロン治療を受けたことがあります。ウイルスは一旦陰性になったのですが、吐き気や気分不良で、投与開始後2ヶ月足らずで中止になりました。その時は、2ヶ月で体重が12Kgも減って、一時は甘いものやお茶、コーヒーなど嗜好品も味を感じなくなることがありました。しばらくして、体重も少し増えたので、3年くらい前からは、スミフェロンの少量長期投与を続けていました。

ウイルスを消すには、ペグインターフェロンとリバビリンの併用療法を行なう方が良いことは知っていたので、「肝炎友の会」などでも情報を集めていました。

副作用で中止になったことがあるので、治療を受けられるかということが心配でした。

Q: 実際に受けてみようと思われた一番の理由は。

院長先生の外来を受診して、私自身のウイルスを消したいという強い思いと、院長先生の「治療して消しましょう」という思いが一致しました。



お知らせ

平成22年4月から重症化した肝機能障害が、新たに身体障害として認定され、障害者手帳の対象となりました。

身体障害者手帳は、身体障害者福祉法、児童福祉法などに基づく制度によって援護を受けようとする場合に必要なものです。その等級によって援護の内容が異なります。

肝機能障害として認定されるのは、症状の改善が見込めず、Child-Pugh分類^{チャイルド・ピュー}の合計点数が10点以上の状態が3ヶ月以上続いているという日常生活が著しく制限された場合で、症状の重症度に応じて、1級から4級に分かれます。

肝障害の重症度を知るために用いられるのはChild-Pugh分類^{チャイルド・ピュー}と以下の10項目です。重症度を知るとは治療方針を決定するために大変重要です。

Child-Pugh分類

Child A : 5-6点 Child B : 7-9点 Child C : 10-15点

	1点	2点	3点
脳症	ない	軽度	昏睡
腹水	ない	少量	中等量以上
血清総ビリルビン値 (mg/dL)	2.0未満	2.0-3.0	3.0超
血清アルブミン値 (g/dL)	3.5超	2.8-3.5	2.8未満
プロトロンビン活性値 (%)	70超	40-70	40未満

各項目に該当する点数を合計して、その合計点で分類します。点数が高いほど肝臓の機能が悪い状態です。

【身体障害を認定する際に用いられる追加項目】

- ・血清総ビリルビン値
- ・血中アンモニア濃度
- ・原発性肝がんの治療の既往
- ・血小板数
- ・特発性細菌性腹膜炎治療の既往
- ・胃食道静脈瘤の既往
- ・B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスの持続的感染
- ・強い倦怠感、疲労感の有無
- ・嘔気、嘔吐の有無
- ・痛みを伴うけいれんの有無

申請に必要なもの

- ・市長の指定した医師の診断書
* 神戸朝日病院には指定医が3名おります。
- ・本人の顔写真（縦4cm・横3cm）1枚
- ・印鑑

問い合わせ先

お住まいの区役所
健康福祉課あんしんすこやか係

豆腐と豆乳を使って“いちご” たっぷりヘルシーミルクレープ

いちごには、「ビタミンCの王様」と呼ばれるほどビタミンCが豊富に含まれています。

ビタミンCは、免疫力を高め風邪をひきにくくしたり、コラーゲンと一緒に働き肌のハリを保つビタミンですが、いちごは5〜6個食べれば1日に必要なビタミンCを摂取することができます。またいちごには、下痢や便秘を防ぐなど整腸作用を持つ水溶性の食物繊維ペクチン、体内に蓄積されたナトリウムの排泄を促し高血圧を予防するカリウム、虫歯予防効果があるキシリトール、さらにビタミン・ミネラルなどをバランス良く含んでいます。

いちごに含まれている栄養素は、生活習慣病を気にする方、妊娠中、授乳中などの方にとって頼もしいものばかりです。

材料(ケーキ1台:約6人分)

- A 薄力粉 …… 100g
卵 …… 2個
砂糖 …… 10g
- B 豆乳 …… 200cc
バター …… 大さじ1.5 (溶かしバター)
- 豆腐のカスタードクリーム
卵黄 …… 1個分
砂糖 …… 40g
薄力粉 …… 15g
豆乳 …… 100cc
絹ごし豆腐 …… 100g
いちご …… 1パック(300g)



1人分

ミルクレープ エネルギー : 220kcal
(市販のものと比べて110kcal OFF)
約2/3になります。



栄養科 廣野 圭衣子

作り方

- ① ボールにAを入れて均一になるまで混ぜ合わせます。
- ② AにBを入れ、粉っぽさがなくなるまで混ぜ合わせて生地を作ります。
- ③ フライパンにサラダ油(分量外)を入れて熱し、②の生地をお玉一杯弱流し入れ、中火で均一に広げて焼きます。生地の色が変わってきたら裏返します。残りの生地も同様に焼きます。
- ④ 豆腐のカスタードクリームを作ります。ボールに卵黄と砂糖を入れて混ぜ、ふるった薄力粉を加えて混ぜ合わせます。さらに温めた豆乳を加えて混ぜ合わせます。
- ⑤ ④を鍋に入れ、泡だて器で混ぜながら火にかけます。とろみがついてきたら火からはずし、絹ごし豆腐を入れ、混ぜ、漉したらカスタードクリームのできあがりです。
- ⑥ 冷ました生地の上に薄くスライスしたいちごを適量ならべ、⑤のクリームをのせ、生地をかぶせ、いちご、クリームをのせる作業を繰り返します。
- ⑦ 冷蔵庫で1時間ほど冷やし、クリームを固めます。



神戸朝日病院での一年目 卒後臨床研修を終えて

研修医 中島圭一



一年前の春に熊本から神戸へやってきました。最初はこんな知らない土地でやっていけるのか心配でしたが、神戸朝日病院での研修を無事終えることができた感謝の気持ちでいっぱいです。

この一年を通じて一番勉強になったことは、患者さんの治療において重要なことはコミュニケーションをとる事だということとです。病氣と慣れない入院生活によって、患者さんは病氣だけではなく、不安とも闘っているというのを感じました。不安を取り除くために大切なことは、患者さんと直接お話をし、丁寧に対応することだと学びました。この一年間に得たコミュニケーション能力は私の人生において、とても大きな財産だと思っています。

私は、寝起きの際は肩が落ちて、元気が無いように見えるようです。そのため直明けの日に職員の方に出ると「先生、大丈夫？ 顔色悪いよ！寝てないんじゃない？」「入院中の患者さんには「先生！大丈夫か？！」と声をかけていただきました。そんなふうにする方々に心配していただいたことは、一人で知

らない街に来た私にとっては、とても嬉しいことでした。一年間、温かい気持ちで見守っていただき、本当にありがとうございました。



中島研修医と李研修医



BOOK GUIDE



番外編

「C型肝炎なんてこわくない!？」

難治性肝炎への挑戦

Part 2

神戸朝日病院 院長 金守良 著

今回は番外編として、今年2月に全国の書店で販売された当院の院長の本をご紹介します。初版(2006年5月)の内容を大幅に加筆修正した改訂版です。

前号のかけはしでもご紹介したDFPP(2重濾過ウイルス除去療法)をはじめ、この数年間でC型肝炎の診断と治療は急速に進歩しました。肝炎対策基本法が施行され、患者さまの医療費負担軽減に係る改正も4月から実施されています。

こうした診断や治療の進歩を、初版同様、図表とデータ満載で、わかりやすくご紹介しています。少し専門的な用語が多く、難しい部分もあるかと思いますが、今、肝疾患専門医療機関で行なわれている最新・最強の治療を集成したもっと知りたい詳しく知りたいという患者さま、医療従事者におすすめの一冊です。今回も、病院のホームページに寄せられた患者さまからの質問にお答えするQ&Aのページも充実しています。

全国の書店または当院の受付でも販売しています。



発行 株式会社 アークメディア
定価 2,000円(税込) A5版 175ページ

編集後記

ヨーロッパ肝臓学会で発表するためオーストリアのウィーンに滞在されていた院長が、アイスランドの火山噴火で予定から4日遅れの23日午後、無事に帰国されました。9日間も院長が不在だったのは、開院以来初めてだったのではないかと思います。留守を任された先生方もフル稼働でした。

噴火のニュースで、院長の帰国が遅れると知った患者さまからは、飛行機が飛んでいる時に噴火しなくて本当によかったと一緒に心配していただき、入院の予定変更などにご協力いただきました。帰国当日の病棟回診では、院長が患者さまと握手されて無事を喜んでおられたと聞きました。大きな混乱もなく診療が続けられたことに感謝です。

(医療情報部 谷口)

外来体制の変更について

	受付時間	月	火	水	木	金	土
消化器科・外科	8:10-12:00	●		●		●	
	8:10-12:00						●
整形外科	13:00-14:30				●		
	17:00-18:30				●		

3月末をもちまして、外科の三田医師は異動いたしました。4月から外科につきましては、非常勤医による月・水・金(午前診)の外来診療を行っております。

整形外科につきましては、非常勤医による土(午前診)、木(午後・夜間)の外来診療を行っております。

外科・整形外科の手術を伴う入院につきましては、しばらくお受入をお断りさせていただいておりますので、ご了承下さい。